

奈良県における次世代校務環境の 共同調達について

奈良県教育委員会事務局 高校教育課
教育情報化推進係長 鹿島 慎一

今日のお話

01

共同調達の背景

本県における次世代校務環境の共同調達に至るまでの歩みについて整理します

02

次世代校務環境

導入を目指す校務支援システムの機能要件と目指すべき業務効率化の姿を提示します

03

調達プロセス

県内自治体における共同調達の具体的な枠組み、スケジュール、役割分担を解説します

04

今後の展望

導入後から現在に至るまでと、今後の展望について説明します

01

CHAPTER 01

共同調達の背景

本県における次世代校務環境の共同調達に至るまでの歩みについて整理します

これまでの取り組み

H23

奈良県域
情報教育・環境整備
担当者連絡協議会 設立

- 各市町村の担当者が参加する会合を定期的に開催
- **県域一体で課題解決に取り組む機運が高まる**

H30

奈良県域
統合型校務支援システム
導入開始

- 国事業である統合型校務支援システム導入実証事業を実施
- 4自治体からスタートし、令和6年度末までに33自治体1組合が参加

R01

県立学校統合型校務支援
システム導入

- 全ての県立学校で同一の統合型校務支援システムを導入
- 市町村とは別のシステム

これまでの取り組み

R02

県域共通ドメインの運用開始と1人1台端末共同調達実施

- 県域共通ドメインで **Google Workspace for Education** の運用を開始
- 市町村を跨いだ1人1台端末の共同調達実施

R03

教員用端末の共同調達実施

- 一部市町村で利用するための教員用端末の共同調達を実施

R04

奈良県 GIGAスクール運営支援センター設置と入試出願電子化開始

- 全自治体参加の下、県域での運営支援センター(国補助金を活用、**費用は児童生徒数で按分**)を契約
- 県立高入試で調査書等提出を電子化

これまでの取り組み

R05

奈良スーパーアプリによる県立高校 Web出願運用開始

- 知事部局主導で開発された奈良スーパーアプリを用いた、生徒によるWeb出願開始

R06

次世代型校務環境とGIGA第2期1人1台端末共同調達実施

- **奈良県域次世代の校務DXを支えるICT環境導入事業**とGIGA第2期の1人1台端末の共同調達プロポーザルを実施

R07

奈良県域次世代校務支援システム稼働開始

- 次世代の校務DXを支えるICT環境の導入・運用開始
- 各市町村でゼロトラストネットワーク環境の整備が進行

02

CHAPTER 02

次世代校務環境

導入を目指す校務支援システムの機能要件と目指すべき業務効率化の姿を提示します

CHAPTER 02 — NEXT GENERATION SYSTEM

学校DX環境整備ガイドライン

令和6年3月策定

GIGAスクール構想や教育振興基本計画などを背景に、奈良県内の学校におけるICT・DX環境の整備や運用の方向性を示すため奈良県教育委員会が作成

- 県立・市町村立学校の環境整備方針
- サポート体制と運用支援
- データ連携・活用の推進とセキュリティ



<https://sites.google.com/e-net.nara.jp/dx-infrastructure/>

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

令和6年7月策定

奈良県域学校教育DX推進連携協議会が令和6年7月に策定した、奈良県内の小・中・高等学校および特別支援学校等における校務DX（デジタルトランスフォーメーション）の基本方針とシステム導入要件をまとめたガイドライン・仕様策定方針書



https://drive.google.com/file/d/1fa6lZhW2ogBRngQ2dDJMGQyq0YKdzB4/_view?usp=sharing

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

策定当時の課題 1: セキュリティリスクと不適切なデータ管理

🖥️ 公用USBメモリへの依存

校務系と学習系のネットワーク間でデータを移動する際に公用USBメモリが利用されるなど、セキュリティ対策が不十分な運用が存在

📁 不要な複製ファイルの点在

メール添付等によるやり取りの中でデータの不要な複製がいくつも作成され、管理が行き届かないファイルによる情報漏洩リスクが増大

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

策定当時の課題 2: 紙とデジタルの二重作業による非効率な業務遂行



印刷と再入力の無駄

「デジタルデータを一度紙に印刷し、それを受け取った担当者が再度デジタルで打ち直す」といった非効率な手作業・二重作業が発生



メール添付主体のやり取り

文書や指導案などをオンプレアプリのファイル形式でメール添付して送信・確認しているため、クラウド上での迅速な共同編集やリアルタイムでの連携が不能

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

策定当時の課題 3: システム間データ(名簿等)の未連携による多重作業



手作業のアカウント管理

校務支援システム、学習ポータル、各種学習アプリ等の間でアカウント・名簿データが連携されていない状態



多重作業による教職員の負担

システムごとに教職員が手作業でユーザー登録や更新を行わざるを得ず、多重作業が大きな負担となっている現状

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

策定当時の課題 4:教育データの散在と利活用の限界

情報の孤立と散在

学習記録、出欠情報、健康状態、学習アプリの履歴などが紙や個々の端末・オンプレサーバ内、各システムの保存先等に散在

一元化と利活用の限界

データを一元化・ダッシュボード化してができておらず、児童生徒の状況把握や指導改善、学校経営等にデータを効果的に活用できていない現状

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

新しい環境で目指している姿

一体的な運用

パブリッククラウド上の校務支援システムと汎用クラウドツールが連携し、ユーザーが**一体的に操作・運用できる環境**を目指す

自由な働き方

ゼロトラストセキュリティにより、教職員が**1台の端末で「いつでもどこでも安全に」**システムを利用できる環境を構築

次世代の校務 DXを支えるICT環境基本要件規準

新しい環境で目指している姿



連携の自動化

名簿データ等の連携を自動化し、教職員や教委の負担である手入力や二重入力を一掃



データの可視化

ダッシュボードでデータを統合可視化し、客観的な指導を行うとともに、**不登校やいじめの兆候を早期発見**



ペーパーレス化

共同編集やオンライン会議を日常化し、**情報のブラックボックス化を防ぎ**、業務の効率化と透明性を高める

03

CHAPTER 03

調達プロセス

県内自治体における共同調達の具体的な枠組み、スケジュール、役割分担を解説します

調達スケジュール

1

令和6年7月

RFI (情報提供依頼)

基本要件規準に沿った仕様書作成に向け、ベンダーから技術情報や意見を収集し分析

2

令和6年9月

仕様書作成・市町村情報交換会

RFIの結果を反映させながら、仕様書作成を進め、情報交換会で各市町村の現状と課題を共有

3

令和6年10月

各市町村の参加意向確認・ゼロトラストセキュリティ勉強会

共同調達への参加意向確認のため「参加確約書」の提出を依頼するとともに、担当者向け勉強会を開催

調達スケジュール

4

令和6年11月

プロポーザル公告

共同調達における最適な事業者を選定するため、仕様書を公開し企画提案を募集

5

令和6年12月

プレゼンテーション実施・受託者決定・契約締結

提案内容の審査(プレゼン審査等)を行い、最も優れた提案を行った開発事業者を選定

6

令和7年4月

パイロット校における仮稼働開始

パイロット校での仮運用を通じて課題を洗い出し、本格稼働に向けた改善を実施

調達スケジュール

7

令和7年6月～

データ移行

旧システムからのデータを段階的に移行

8

令和7年8月

研修実施・マニュアル公開

各市町村教委・学校管理職・教務主任向け研修会の実施とマニュアルの公開

9

令和7年9月

本格稼働開始

導入全自治体での稼働開始

04

CHAPTER 04

今後の展望

導入後から現在に至るまでと、今後の展望について説明します

課題への対応と今後の展望

これからの具体的な取り組み

対応 01

研修とサポートの継続

- 様々なニーズに対応した内容の研修を継続的に実施

対応 02

パートナー連携と情報共有

- 開発企業とのより綿密な調整
- 機能アップデート等に関する前広な通知

対応 03

市町村教委の主体性の向上

- 市町村教委の主体性をより引き出す担当者会運営

課題への対応と今後の展望

これからの具体的な取り組み

対応 04

データ利活用の推進

- データ利活用の推進による県域利用のメリットの最大化

対応 05

教師の負担軽減に繋がる機能改修

- 外部システムとの連携による教職員の負担軽減

参考資料

県域学校教育DX推進連携協議会

<https://sites.google.com/e-net.nara.jp/schooldx>

学校DX環境整備ガイドライン

<https://sites.google.com/e-net.nara.jp/dx-infrastructure/>

次世代の校務DXを支えるICT環境基本要件規準

https://drive.google.com/file/d/1fa6lZhW2ogBRngQ2dDJMGQyq0YKdzB4_/view